



開物成務

令和元年 12月 23日(月) 発行

校長 津田 将美

かけ足記録会の すてきさん

「何周、めざすの？」

「今日は、4周。」

「すごいね、がんばって！！」

「うん！」



2年生のかけ足記録会の発走前、こんな会話がありました。その声音、表情から友だちのことを心から応援する気持ちが伝わってきました。もちろん、このような姿勢は本番だけで生まれるものではありません。この日に向けて一生懸命練習してきたこと、そして努力することのできる自分自身を大切にしている心があるからこそ、周りの仲間も大切にすることができるのだと思います。それぞれの学年の記録会では、走っている子だけでなく、応援する仲間のあたたかい声かけが数多くありました。このような心で子どもたちは、「いのちを大切にするすてきさん」を表現してくれました。

5、6年生の持久走記録会では、「さすが高学年」と思わせるペース配分の子が多くいました。自分自身の体力を知り、自分のペースをつかむことは、持久走の大切な学習内容でもあり、生涯学習へとつながる大切な素地となります。そのためには、友だちの走り方等も参考にしながら、自分の体の動き、呼吸のリズム、息のはき方、すい方などを考えながら心地よいペースをつかんでいく必要があります。最後までペースの乱れない走り方で走りきれたのは、自分の体の状態を考えながら学習に取り組んできた成果です。そして、それぞれのめあてを目指して精一杯に取り組んできたことで、心身共にたくましく成長しました。持久走の取り組みの中にも「成長し続けるすてきさん」「考えを磨き合うすてきさん」の姿が数多く見られました。



すべての学年の時間走記録会が終わった翌週の月曜日、最後の時間走の練習がありました。全校児童が外に出て、それぞれのペースで走っています。どの子の表情も「走ることを楽しむ」気持ちにあふれていました。今年度から中休みに行われているこの練習は、体育委員会の子どもたちが主体的に運営してきました。そこには、「全校児童に運動好きになってほしい」という1年を通した願いがあります。きびきびと片付けに動く体育委員の子どもたちからは、そのような願いが強く感じられます。

最後の練習の締めに、担当教諭に促され、体育委員長が前に出て、あいさつをしました。

「全校児童が運動好きになるために、力を合わせてしっかりと活動ができたと思います。」

3学期も運動好きを増やすために、がんばりましょう。」

力強い言葉、そして体育委員の「はい」という返事。

「生き生き活動するすてきさん」の姿も見させてもらった時間走の取り組みでした。子どもたち一人一人の3学期の活躍が楽しみです。

いよいよ、年が暮れていきます。ご家族で良い年をお迎えください。

生き生きと活動する すてきさん

12月6日に、ピカピカ班遊びがありました。清掃班でもあるピカピカ班は、子どもたちにとってはいわゆる自治の場でもあります。異学年の子どもたちが共に活動することで、高学年へのあこがれや自己肯定感、自己有用感を育んでいます。自分の存在意義を考え帰属意識を持つことは、社会貢献という意味で考えると持続可能な社会を目指す新しい学力観にもつながります。



後期のピカピカ班の顔合わせでのことです。清掃の目標ややり方等6年生が班の仲間に伝えている各教室を回っていると、今年度から本校に勤務する担任がそばに来て、話してくれました。

「うちの6年生って、前向きですね。やらされているのではなく、自分たちで目的を持って伝えている姿がすばらしいと思います。」

同じ学校の職員ではありますが、本校の最高学年の子どもたちが褒められて、とてもうれしかったです。清掃活動は、いわば「生き生き活動するすてきさん」の礎でもあるのです。

10日には、美化委員会主催の「清掃活動」についての集会が行われました。きれいにすること、清掃用具の片付け方などを実際に写真に撮り、具体的に伝えてくれました。低学年の児童も、自分たちがふだん見慣れている風景をもとに話を聞くことで、わかりやすかったようです。

今年度より、週の始めの月曜日には朝清掃を行っています。自分たちの学ぶ環境を自分たちできれいにすることで、一週間の学びに向けた心も磨いてほしいと思っています。ピカピカ班での交流が、クラス清掃でも子どもたちの環境美化へ向けての心を高めてくれているようです。



国際交流を行いました



12月11日

恒例の5年生と東海大学留学生による国際交流が行われました。今年は例年以上に多くの参加があり、お隣の韓国をはじめ、タンザニア、ベトナム、スウェーデン等12か国、12名の留学生のみなさんが開成小学校へ訪問してくださいました。

上の写真は、はじまりの会での様子です。手話を交えた合唱曲の披露で、とても心がこもって感動的でした。思わずホロリとしてしまうようなお迎えの仕方で、良き出逢いとなりました。

学校長の話では、学生時代、自分の家に留学生を2か月迎え入れた経験から、「交流に大切なものは、言葉以上に心である」という話をさせてもらいました。そんな前置きが必要ないくらい、5年生たちは生き生きと楽しそうに心を通わせていました。きっと留学生のみなさんも、開成小学校での交流が心地よかったと思います。

このような交流を通して、異文化理解や国籍、肌の色等を越えた人と人との心のつながりの大切さを今後も学んでいってほしいと思います。

第3回家庭教育学級

12月3日

今回は、「耳つぼジュエリー講座」ということで、耳つぼの刺激による健康促進の講座でした。うかがった時には既に多くの参加者のみなさんが、熱心に自分の耳を刺激しながら講座を受けていました。美容と健康は、生き生きとした生活の要です。成人教育委員会の皆様、ありがとうございました。

新年も子どもたちも保護者の皆様も健康で良い年を送っていけるように、学校職員も健康に留意して、良い1年にしたいと思います。

